

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（店 長） 乗用車販売店 （役員） ゴルフ場（従業 員）	単価の動き 単価の動き 来客数の動き	前年割れし続けていた客単価が今月については、前年 比5ポイント以上増えた。 予防安全に対する意識が強くなっているため、予算総 額が増えている。 入場者数は昨年より若干良い状況にある。予約状況 も、2～3か月前と比べて平日から良い状況が続いて いる。
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	ゴールデンウィークは特に観光客数が増えている。 また、外国客船の入港が続いているので、インバ ウンド客も増えている。しかし、地元客の財布のひも は固く、消費マインドが改善しない状況が続いて いる。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	販売量の動き	個人客の販売は落ちているが、法人客の注文が増え た。総じて、販売量に変化はない。
		一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	店頭売上、外商売上ともに、前年同月比を大きく割り 込んだ。
		一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	お客様の様子	消費者は必要な物、安い物しか購入せず、家計が厳し いことしか話題にならない。
		スーパー（企画 担当）	単価の動き	食品単価の値上げが落ち着き、買上単価が前年に比べ 伸びなくなった。来客数はほぼ前年並みで推移して おり、売上の増加にはつながらない。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	客数は前年並みとなっている。
		家電量販店（店 員）	単価の動き	低単価商品を購入される客が多く、売れても厳しい。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	最近是新卒需要も少なく、例月と変わらない。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	熊本地震に加えて、4月末に発生した大手自動車メー カーの燃費不正問題もあって市場ムードは悪い。軽自 動車税増税で減少した前年に比べると120%と上回っ ているものの、前々年と比べると81%と大きく割り込 んでおり、低水準にある。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（副 支配人）	お客様の様子	衣料品はやや低調であるが、その他の部門は単価が若 干上昇している。
		観光型旅館（経 営者）	販売量の動き	来客数は増加傾向にあるが、経済の先行き不安も あり、客の消費が伸びていない。客単価が上昇しないの で、売上があまり増加していない状況にある。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	熊本地震の影響からか、ゴールデンウィークがさほど 良くなかった。月の後半は若干盛り返してきたが、来 客数、単価ともにあまり伸びない状況が続いている。
		旅行代理店（営 業部長）	お客様の様子	熊本地震の影響で修学旅行は方面変更や時期変更を余 儀なくされ、一般法人についても中止や次年度以降に 延期となるなど、自粛ムードになっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	宴会の頻度が減少しているうえに一次会で解散する という話をよく聞く。全体的に、中高年の飲食機会が 減っている。
		通信会社（社 員）	販売量の動き	販売量は前年同月と同水準で推移しているが、他社か らの流入・流出の動きが鈍化しており、夏商戦でも現 状を維持できるかは不透明である。
		通信会社（支店 長）	来客数の動き	事業環境の変化はあるものの、季節的にも大きな動き は見られない。
		通信会社（企 画）	お客様の様子	顧客からの引き合いに大きな差がなく、変わらない。
		競艇場（職員）	販売量の動き	売上高は前月比12%増、3か月前比横ばい（本場開催 日3日増を考えると減少）、前年比17%減（前年5月 は周年記念開催）となった。ゴールデンウィークの売 上も前年比横ばいで推移した。
住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	受注量は前年を上回っているが、イベントでの集客数 は減っているため、変わらない。		

	やや悪く なっている	商店街（事務局長）	販売量の動き	3月ごろから高級品（宝飾、腕時計、美術品等）の売上（点数、単価）にブレーキがかかり、回復の兆しが見られない。高級品は売上に占める割合が大きいので、全体を引き下げている。インバウンド客は目に見えて増えてはいるものの、一部の店舗（ドラッグストア、100円均一ショップ、日本料理店）を除き、実需には貢献していない。
		商店街（代表者）	それ以外	コンパクトシティを目指し20年以上努力し徐々に成果を上げつつある時期に、コンパクトシティそのものの意味を全く理解できていない首長が選ばれ、文化活動を中心とした音楽芸術ホールが都市計画決定後白紙撤回されるなど挫折しつつある。
		商店街（代表者）	単価の動き	商品単価はやや値上がりしているが、給与収入等はあまり増えていないため、個人消費は低迷している。特にレジャー産業は影響を受けやすく、厳しさを実感している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	客が買いたい物しか買わず、客の必要な物しか取り揃えない状況になっている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	衣料品は継続的に苦戦していることに加え、年明け以降の円高・株安などの影響から、高額品の動きがやや鈍化している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	ドラッグストアなどの開店が相次ぎ、客の争奪戦になっている。ディスカウントが中心となっている現状で景気の回復がみられない。
		スーパー（財務担当）	単価の動き	高価格帯商品の動きが悪い一方、値下げした低価格帯商品の動きは良い。
		コンビニ（商品担当）	販売量の動き	季節商品の動きがよくない。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	3か月前に比べ来客数は減り、買上単価も下がっている。特に最近、街中は週末土日の集客が極端に減っている。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	前年に比べ来客数が少なく、1人当たり購入枚数も減少している。売上は10%前後のマイナスを見込んでいる。客にアプローチを掛け続けても効果なく、客数が減り続けている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	新車受注が前年を下回って推移している。
		タクシー運転手	来客数の動き	お遍路の仕事が予想よりも少なかった。街も相変わらず昼は暇で、夜も大して動いていない。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	販売数が2月比10%減、前年5月比も10%減少している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	商品の紹介をしても、ネット通販で購入する客が多くなった。
		悪く なっている	コンビニ（店長）	来客数の動き
		スナック（経営者）	来客数の動き	ゴールデンウィークがある5月は例年客足が遠のくが、今年は例年にない事態になっている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	来客数の減少、客単価の低下が続いている。
企業 動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	短納期・低価格ながら自動車関連部品（金型）の受注が増えた。
	変わらない	木材木製品製造業	受注価格や販売価格の動き	ローコスト製品への要請案件が増えている。個人消費の弱含みが続いているからと理解している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	売上、利益共やや減少している。
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	販売量にほとんど変化が無く、2～3%程度の変動幅で推移している。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	受注高、売上高共に横ばいで、景気は変わらない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	第1四半期は、前年度の繰越業務があるため、売上の減少は想定済みで、特に良くも悪くもない。
		輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	消費税増税の話題はあるが、大きくは変わらない。
		通信業（総務担当）	それ以外	特段大きな動きが見つからない。

	金融業（副支店長）	取引先の様子	取引先の決算見通しや月次試算表を見ると、前年並みの業績を維持している企業が多い。言い換えればまだまだ業況好転には至っておらず、運転資金・設備資金需要とも直前四半期比では弱含みな印象を受ける。	
	広告代理店（経営者）	取引先の様子	一部の得意先では周年事業があつて売上を確保できたが、多くの得意先は販促に対するマインドが弱く、全体としてあまり変わらない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	ゴールデンウィーク明けで受注量が減少している。	
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	4月までは順調であった受注量が、ゴールデンウィーク明けから急激に減少している。特に九州の小売店が熊本地震の影響で商況が悪化している。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	国内需要は前年割れ、海外需要は減少傾向が続いている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	受注量が激減している。受注済みの残工事を消化している状況で、先行きについて非常に不安に感じる。	
	輸送業（支店長）	取引先の様子	法人貨物が発送量、到着量共に減少している。	
	不動産業（経営者）	取引先の様子	住宅地、個人住宅に関する需要が減っている。	
	公認会計士	取引先の様子	取引先の決算書、試算表等を前年比でみると、売上、利益ともに減少している企業が増えている。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連 (四国)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	求人数は増加傾向にあるが、求職者の激変、求職者のミスマッチなどにより、なかなか就労に繋がらない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	高い求人倍率のなかで、低調であった正社員求人増加が見られる。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	求職者数の動き	求人条件にもよるが、やや高めの賃金では求職者数の動きが出てこない傾向にある。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	製造業では受注量に大きな変化は見られない。東予地方に、大型ショッピングセンターがオープンしたことにより、周辺の店舗が集客面で苦戦している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	クライアントの動向は先月と変わらない。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	地方の商工会会員企業において、新たに採用する余裕が無いという回答が多い。現状の人員数を保つことに苦心している。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	企業の就職担当者から、3か月前と比べて景気が上向いているとの話はほとんど聞こえてこない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	派遣社員は売手市場となっているが、肝心の派遣スタッフ登録が少ない。
		職業安定所	それ以外	4月の有効求人倍率は1.28倍、3か月前の1月は1.42倍で、0.14ポイント低下した。
悪くなっている	-	-	-	